

夢かなえる懸け橋に

専修学校制度は、1975〔昭和50〕年に制定され、

2005〔平成17〕年、30周年を迎えました。

時代が求める即戦力となる人材を育成する

職業教育のかなめへと発展しました。

専修学校は、夢をかなえる懸け橋です。

あらゆる学歴に応じて、

だれもが学べる生涯学習機関として、

幅広い人々に多彩な学びの機会を

提供しています。

2005

1995

1985

1975

専修学校は、 今をにない、明日を築く、 職業教育のかなめです。

専修学校は、日本の職業教育のかなめとなって、
創造性あふれる教育を実践しています。
より豊かな学びの実現をめざし、
各校が独自に、あるいは様々な連携を通して、
学ぶ人に多様な道を開いてきました。
今日の社会を職業教育の面から支え、
明日を築く担い手として、
大きな期待が寄せられています。



専門士の称号の付与

修業年限2年以上で、一定の要件を満たす
専門学校（専修学校専門課程）卒業者は、
専門士の称号が付与されます。



職業に結びついた資格の取得

職業への意識を養い、専門知識を身につけ、
プロフェッショナルとしての自覚を高めな
がら、多様な資格を取得できる場が専修学
校です。

若者の意識啓発

若者への勤労意識の啓発は、日本社会の大
きなテーマです。専修学校は、様々な職業
体験の機会を提供し、若者の意識啓発に取
り組んでいます。

産業界のニーズに対応

日本の産業構造が大きく変わる中、専修学
校は、即戦力となる人材をタイムリーに養
成し、産業界のニーズに応えています。

夢をかなえる

「好きなことを仕事にする」。そんな夢を実
現するための懸け橋となるのが職業教育。
専修学校が担う使命です。

学校教育法に基づいた教育

専修学校は学校教育法の中で「職業若しく
は实际生活に必要な能力を育成し、また教
養の向上を図る」ことを目的としています。

企業との提携

インターンシップをはじめ企業との連携を積極的に進め、実践教育にとりこんでいます。

多様な学習の機会

個性、適性に応じて、幅広く可能性を追求できる機会を設け、若者が積極的に学んでいます。



社会人のキャリアアップ

時代は目まぐるしく変化し、より高度な技術、能力が求められています。社会人のためのキャリアアップのプログラムを提供しています。

職業教育体系の構築

日本における職業教育体系の構築が求められています。職業教育の担い手として、新たな教育体系を世に問います。

調査研究活動

職業教育制度、教育内容、指導方法など、時代を読み、先取りするのに欠かせない研究活動に取り組んでいます。

大学院入学資格

修業年限4年以上で、一定以上の要件を満たす専門学校(専修学校専門課程)卒業者は、大学院に入学することができる資格が付与されています。

ダブルスクールや 大学卒業者の学び

大学や短期大学に通いながら、あるいは卒業後、さらに実学を身につけようと意欲を持った人々に、学びの場を提供しています。

地域を元気に

商店街の活性化、ボランティアなど、地域社会と連携して、専修学校生の創造性あふれる若いエネルギーが活躍しています。

高度専門士の称号の付与

修業年限4年以上で、一定の要件を満たす専門学校(専修学校専門課程)卒業者は、高度専門士の称号が付与されます。



大学への入学

3年制の高等専修学校(専修学校高等課程)のうち、文部科学省の指定を受けた学科の卒業者は、大学への入学の道が開かれています。

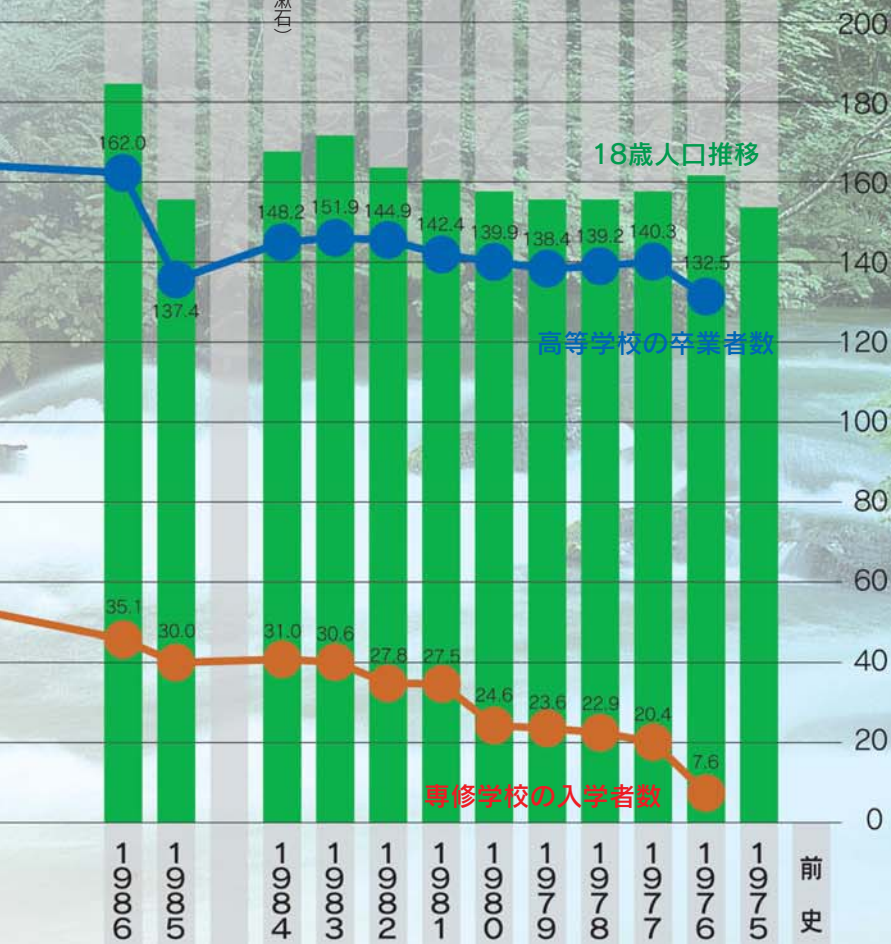
大学への編入学

修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時数1,700時間以上の専門学校(専修学校専門課程)卒業者は、大学へ編入学する道も開かれています。

時代に柔軟に対応して、 学ぶ人の夢をかなえる道を 開いてきました。

●時代の動き

- 昭和50年 ●ベトナム戦争終結
- 昭和51年 ●ロッキード事件
- 昭和52年 ●日本、200カカリ宣言
- 昭和53年 ●新東京国際空港(成田空港)開港
- 昭和54年 ●東京サミット開催
- 昭和55年 ●日本の自動車生産台数 米を抜く
- 昭和56年 ●臨時行政調査会、初会合
- 昭和57年 ●東北新幹線開業
- 昭和58年 ●ゲームファミコン発売
- 昭和59年 ●新札発行(福沢諭吉、新渡戸稲造、夏目漱石)
- 昭和60年 ●G5、プラザ合意。円高へ
- 昭和61年 ●男女雇用機会均等法施行



I N D E X

《夢をかなえる懸け橋に》

- 専修学校は今をにない明日を築く、職業教育のかなめです。……2
- 時代に柔軟に対応して、
学ぶ人の夢をかなえる道を開いてきました。……4
- 専修学校には3つの課程があります。……6
- 好きな仕事で夢を実現しています！……8
- ゲスト・インタビュー……10
- ゲスト・インタビュー……12
- 専修学校制度制定30周年記念式典……14

《本編》

第1章 ◆誕生期 before 1975年—1984年……17

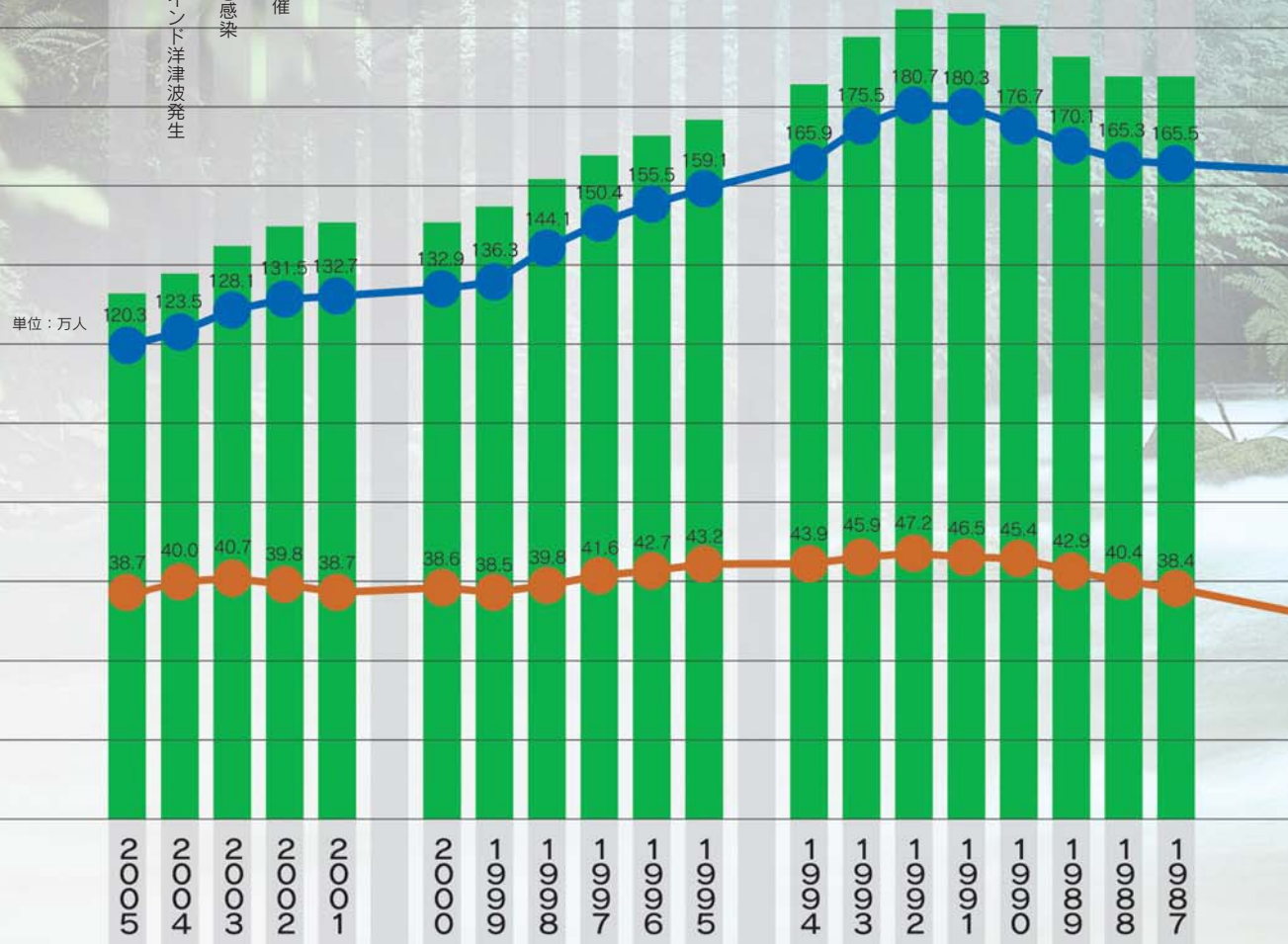
誕生期

- 人々の旺盛な学びの意欲に……18
- 「本案は可決となりました」……22
- 続々進む専修学校への切り替え……23
- 国による専修学校の振興策……24
- 教職員の資質向上への取り組みを開始……25
- 高等教育、後期中等教育を担う機関としての施策を……26
- 高等専修学校に立ちふさがる、法の未整備……27
- 文部省、専修学校教育に関する懇談会発足
- 専修学校に初の国費留学生
- 高等学校新規卒業者の専門学校入学者10%台に
- 文部省、専修学校教育内容等改善研究協力校事業開始

第2章

- ◆発展期 1985年—1994年……29
- 制度発足10周年、振興・助成策が拡充……30
- 3年制高等専修学校修了者に、大学入学資格を付与……31

昭和62年 ● 国鉄分割民営化
 昭和63年 ● 青函トンネル開業、瀬戸大橋開通
 平成元年 ● ヘルリンの壁崩壊
 平成2年 ● ハブル経済の崩壊
 平成3年 ● 湾岸戦争勃発
 平成4年 ● P.K.O協力法成立
 平成5年 ● Jリーグ開幕
 平成6年 ● 関西国際空港開港
 平成7年 ● 阪神・淡路大震災
 平成8年 ● 病原性大腸菌「O157」食中毒
 平成9年 ● 香港返還
 平成10年 ● 冬季オリンピック長野大会開催
 平成11年 ● 欧州11か国に単一通貨ユーロ導入
 平成12年 ● 「IT革命」介護保険制度スタート
 平成13年 ● ニューヨーク同時多発テロ
 平成14年 ● 日韓共催サッカーワールドカップ開催
 平成15年 ● アジアでSARS重症呼吸器症候群感染
 平成16年 ● 新潟県中越地震、スマトラ沖大地震インド洋津波発生
 平成17年 ● 愛知万博開催



期	内容	頁
次代創造期	職業教育のさらなる充実に向けて、高度専門士の誕生	97
	専修学校がもつ職業教育の力をアピール	88
	7月11日は「職業教育の日」	82
	社会的な評価を高めるために	76
	ITフロンティア教育の推進	70
充実期	◆次代創造期 2001年—2005年	69
	留學生、就学生の受け入れ環境を整備	65
	学修の認定をより柔軟にし、遠隔教育の可能性を広げる	60
	大学編入学の実現。制度的袋小路の解消	56
	産業構造の転換に対応し社会人にリカレント教育を	50
発展期	◆充実期 1995年—2000年	39
	進む少子化、教育の高度化	46
	専門士の誕生。1年目は23万人	40
	自由競争の時代へ	38
	◆発展期 1987年—1994年	32
次なる専修学校制度を見つめて	32	
専門学校への進学率、大学に次ぐ	33	
消費税導入に「公平」教育非課税を訴え非課税を実現	34	
生涯学習振興法が成立	34	
大学などによる単位認定の制度を創設	35	
専門学校の課題に取り組む	36	
高等専修学校での学習を、高等学校の単位として認定	37	

《資料編》

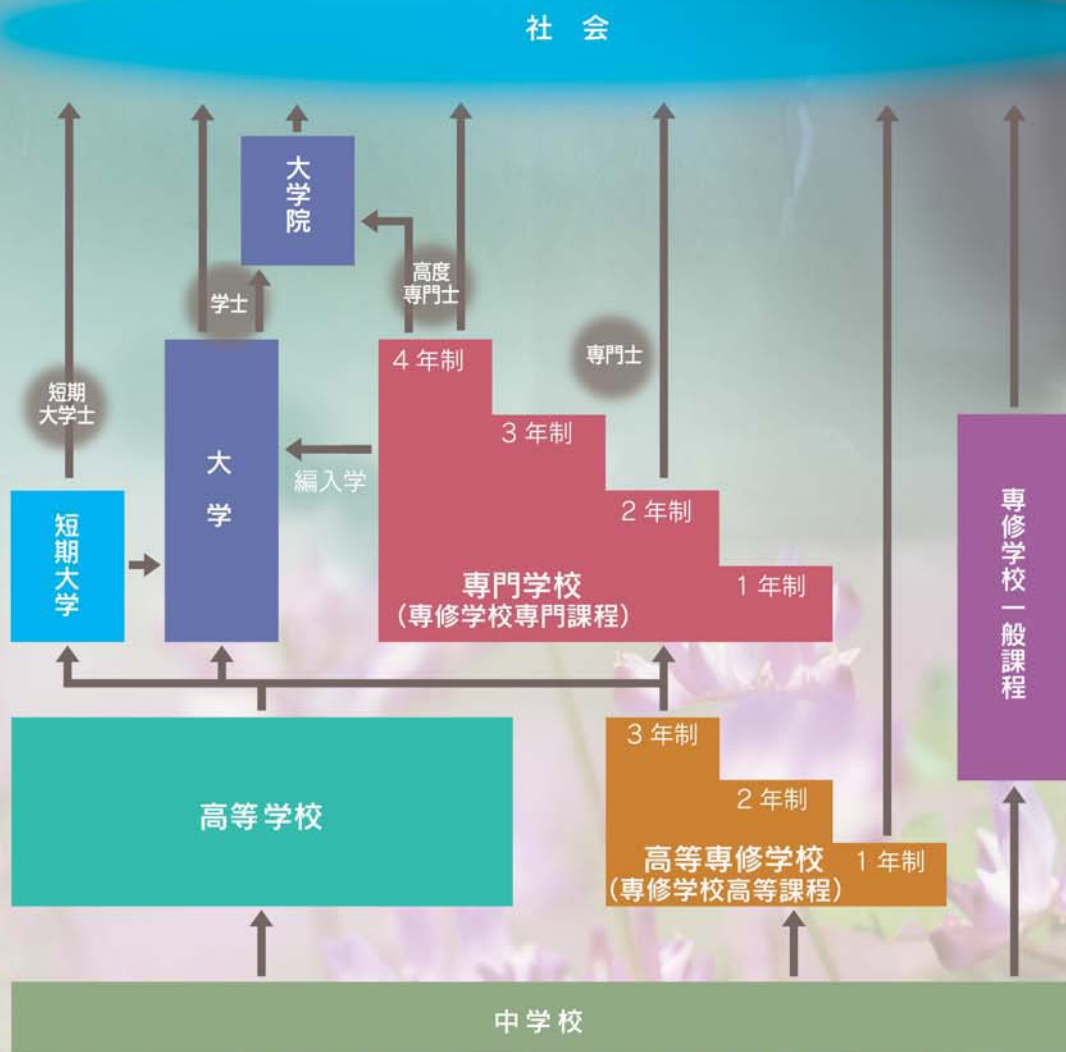
- ◆年表……………102
- ◆資料……………122
- ◆専修学校制度制定30周年 専修学校教育功労者 文部科学大臣表彰者……………134
- ◆編集後記……………138

※本文中の団体名、役職名は当時のものです。



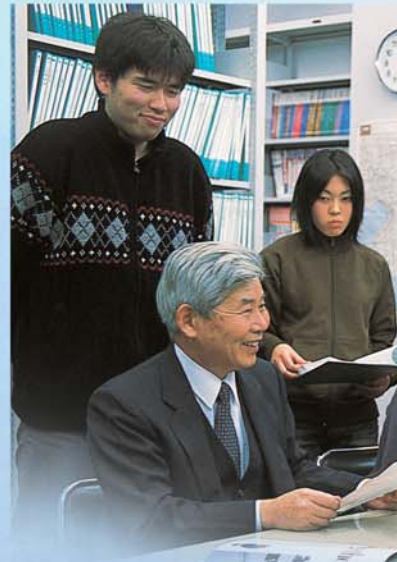
専修学校には 3つの課程が あります。

◆日本の学校教育システム（抄）



●専修学校とは

専修学校は、学校教育法（第七章の二、第八十二条の二～十一）に、「職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、また教養の向上を図る」ことを目的とする学校であると明記され、専門技術と豊かな人間性を併せ持つ人材の育成に努めています。



専修学校は、入学資格に応じて、3つの課程があります。

高等学校卒業同程度以上を対象とする「専門学校（専修学校専門課程）」。

中学校卒業以上を対象とする「高等専修学校（専修学校高等課程）」。

そして、入学資格を問わない「一般課程」があります。

一定の要件を満たす4年制専門学校卒業者は、高度専門士の称号が付与され、大学院に入学する資格が得られます。

一定の要件を満たす2年制専門学校卒業者は、専門士の称号を付与され大学に編入学する資格が得られます。

3年制の高等専修学校のうち、文部科学省の指定を受けた学科の卒業者は、大学・専門学校への入学の道が開かれています。

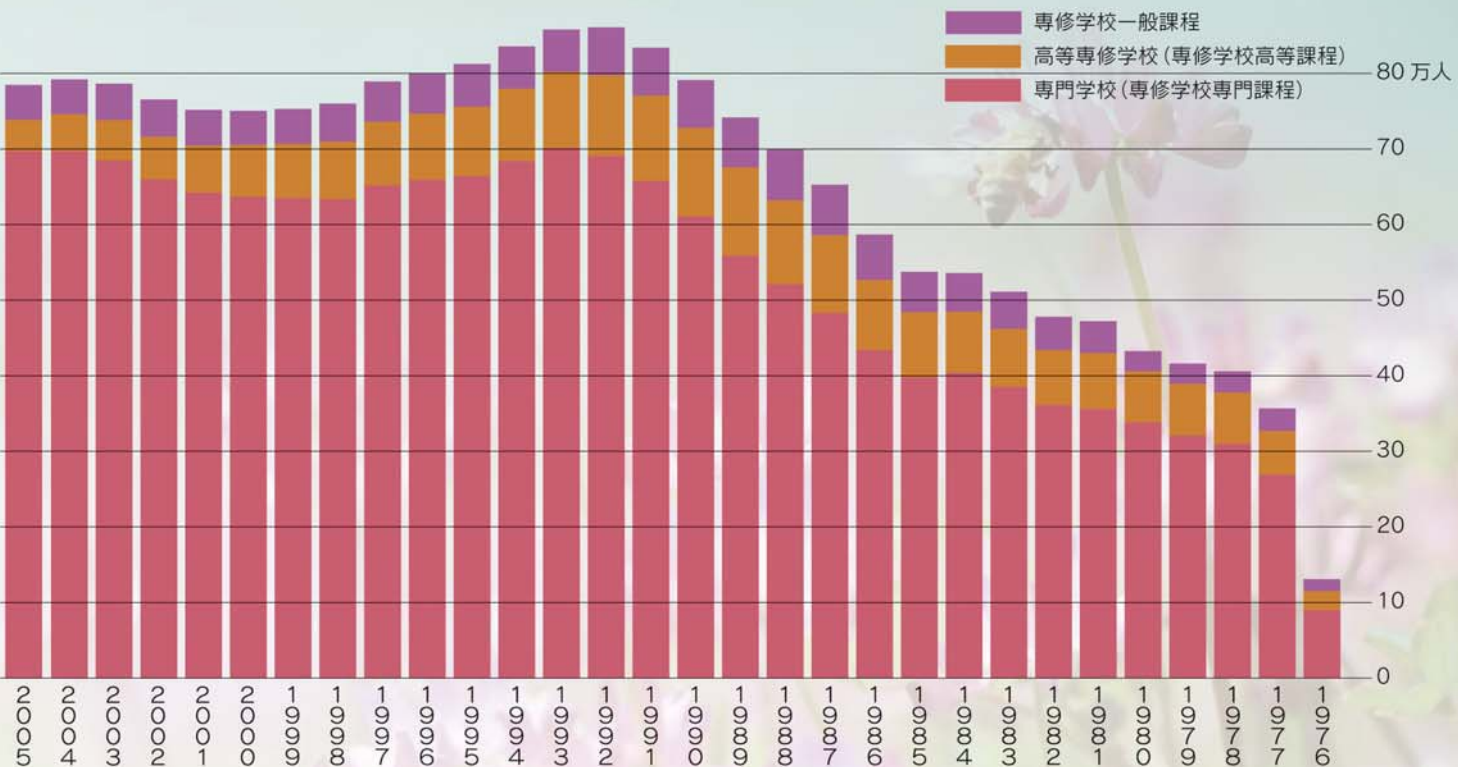
◆就職率

専修学校卒業者は高い就職率を誇っています。



◆専修学校の課程別学生・生徒数

3つの課程の中で、専門学校(専修学校専門課程)の学生数が伸びています。



データは文部科学省「学校基本調査」より

好きな仕事で 夢を実現して います！

目的意識を持って学ぶ、
繰り返し学ぶ、実学を中心。
それが専修学校です。
学べる内容は極めて多彩。
夢実現の近道です。

多彩に広がる8分野



工業

時代の先端のエンジニアとして
測量、土木・建築、電気・電子、無線・通信、自動車整備、機械、電子計算機、情報処理など



農業

これからの農業、園芸を担う
農業、園芸、生物工学、動物管理、ガーデニングなど



医療

いのちを支え、健康を育む
看護、准看護、歯科衛生、歯科技工、臨床検査、診療放射線、理学療法、はり・きゅう・あんま、柔道整復、理学・作業療法など



衛生

美と食を創造するスペシャリスト
栄養、製菓、製パン、調理、理容、美容、など



教育・社会福祉

人を育て、サポートする
保育士、教員、介護福祉、社会福祉など



商業実務

ビジネスの第一線で活躍
商業、経理・簿記、ビジネス、秘書、経営、旅行、情報など



服飾・家政

ファッション業界の担い手
家政、和裁、洋裁、料理、編物・手芸、スタイリスト、ファッションデザイン、ファッションビジネスなど



文化・教養

時代の感性、社会のニーズに対応
音楽、美術、デザイン、外国語、演劇・映画、写真、通訳ガイド、受験・補習、動物、法律行政、スポーツなど



◆専修学校の分野別学生・生徒数の推移

専修学校は、時代の変化にマッチした人材を社会に送り出してきました。



データは文部科学省「学校基本調査」より